

令和6年度第2回 岡谷市商業活性化会議 議事要旨

- 1.日 時 令和7年3月26日(水)午後3時30分～午後5時15分
- 2.場 所 岡谷市役所9階 大会議室
- 3.出席者 笠原新太郎会長、中村文明副会長、有賀利恵子委員、飯田洋市委員、
齊木麻代委員、草間麻絵委員、高林昌司委員、松下京一委員、
宮沢透委員、山口雅人委員、山崎貴司委員、山崎典夫委員
- 【事務局】 木下産業振興部長、山田商業観光課長、秋山統括主幹、平沢主査、高木主事
会議所赤沼専務理事、清水商業・地域振興課長、花岡主査
※記者会傍聴1社(市民新聞)
- 4.議 題 (1) 令和6年度事業報告<資料1>
(2) 令和7年度事業計画<資料2>
(3) 第2次岡谷市商業活性化計画 重要度・優先度の見直しについて<資料3>
5. 議事要旨

会長	<p>それでは、よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、事務局より「(1) 令和6年度事業報告」について、説明をお願いします。</p> <p>～事務局より説明～ 令和6年度事業報告<資料1></p> <p>ありがとうございました。それでは、ただいま説明がありました各種事業報告につきまして、ご意見、ご質問等あればお願いいたします。</p> <p>では私から1つ。40ページ、商業活性化補助金の交付ということで、これは会議所と市だと思うんですけれども、項目が1から9まであって、全部で23件ということで、多分毎度同じようなことだと思うんですけれども、実績のないものがたくさんあるんですね。</p> <p>で、その分は多分販促活動、(項目の)1番や2番なりに使われているということになるのかなって思うんですが、この他にも幾つも活用されればいいなっていうものが、あるにもかかわらず、残念ながらこれは商業者の方が手を挙げないと使えないお金ということでしょうから。商業者や商業会の自発的なものが少ないというような評価もありましたけれども、そこによるとは思いますが、ぜひこういったことに使えるよっていうようなPRとか、促進とかそういうことがあってもいいんじゃないかと思うんですがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>すいません、商工会議所の方から今のことについて、回答というわけじゃないんですけど状況の説明をさせていただくと、毎年岡谷商業連合会の総会の際に、各商業会の会長さんにお集まりいただいていますので、その際にこういったものがあるっ</p>

	<p>ということをお伝えさせていただいているのと、あとTMOの委員会もですね4月に開催があるんですけども、みえられる商業会ですとか各種組織、団体の皆さんには、こういったものがありますということで一応資料お配りしながら説明させていただいているところですので、おそらく知らないっていう商業会長さんも少ないとは思いますが、</p> <p>なかなかそれぞれの活動の中で、活用いただける機会が少ないのかなというのが、今現状かなと思います。</p>
事務局	<p>はいすいません。この商業活性化補助金については商業のしおりの中にも入っていますので、各商業会の総会だとか、そういうときにも配っていただいているという状況になっています。</p> <p>一点すいません、40ページのところなんですけど8番、安全安心お買い物等環境整備事業っていうふうにあります。これは廃止されているので8番は今はないです。すいませんよろしくお願いします。</p>
会長	<p>はい。わかりました。ぜひ商連等を通じて、こういった場合は使えるよと相乗効果とかいうこともあるし、どんどん活用していただければというふうに思います。</p> <p>他はいかがでしょうか。</p> <p>はい、それではですね、次に進めたいと思います。後程、先ほど報告のあった件についても、あわせてご意見・ご提案があれば承りますので、次に進めさせていただきます。それでは資料2をご覧くださいながら説明をいただきたいと思います。</p> <p>事務局より、令和7年度事業計画について、説明をお願いいたします。</p> <p>～事務局より説明～ 令和7年度事業計画<資料2></p> <p>はい。ありがとうございました。</p> <p>それではこれから、皆さんからご意見ご質問をちょうだいしたいと思います。先ほどの報告も踏まえた上で、今年の計画についてのご意見等ちょうだいできればなと思います。ぜひですね、こういう取り組みも必要じゃないか、こういったところはもっと足りないんじゃないかというような、そんなご意見をぜひいただければなというふうに思いますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>はい。いかがでしょうか。</p> <p>ちょっとまた私から口火を切らせてさせていただきたいんですけども。</p> <p>先ほどの会議所の報告の中で、最初のご挨拶にも少し申し上げたんですが、まちづくり会社の件であります。新聞報道にもかなり大きく、いよいよ始めるぞと、で、商工会議所の会頭もかなり積極的に、これが必要だということでお話をされてますの</p>

	<p>で、先ほど報告の中にかなり詳しく書いてあったんですが、今このまちづくり会社がどんな状況で、話せる範囲というのもあると思いますけれども、どういう状況なのか、お話いただいたり、それと、この商業活性化計画との関連性というか、やはり、ぜひそのまちづくり会社は、この商業活性化計画も意識した上でね、様々な計画を進めていっていただければなというふうに、私は願ってしまして、たぶん皆さんもそうだと思いますが、それを踏まえた上でお話をいただければと思います。よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>今会長の方からですねまちづくり会社のお話がありました。ちょっと若干経過を含めて、話をちょっとさせていただきたいと思うんですけれども。</p> <p>今まで商工会議所ではですね、TMOという組織がありまして、まちの活性化に一生懸命取り組んできた部分もございますが、なお一層ですね、まちの活性化それから賑わいの創出を図るにはどうしたらいいんだろうかというようなことで、昨年度、今、副会長の中村さんを筆頭にですね、まちづくり推進委員会特別委員会を設置して、そういう取り組みが何かできないかということを考え、始めました。</p> <p>そういう中でですね、中小企業庁ですとか中小機構の方のですね、協力を令和5年、6年と受けることができまして、まちづくり会社というような組織を設置することによって、そういうまちの活性化が図れるのではないかというような、アドバイスのなものもありました。そういうことでですね、会議所として、何かできないかという中で、やっぱりまちづくり会社作ったらどうでしょうかというようなことを、その委員会の中でも議論をして、進めてきたところであります。</p> <p>先日、臨時総会が3月14日にありまして、会頭の方からもそういうまちづくり会社を設置して、まちの活性化に資するものを作っていこうというようなことを、できるだけ、すぐにつくれないかというような提案をさしていただいたところは、議員さんの方からですね、大きな反対とかそういうこともなかったものですから、ここですね、一応まちづくりの設立の準備会を8月になったらすぐに立ち上げて、具体的に組織をどうするかとか、役員をどうするかとか、ビジョンをどうするか或いは事業計画、出資の関係も含めてですね、早期に検討して、立ち上げていきたいということで今進んでおります。</p> <p>そういう途中経過ではありますけど、また皆さんの協力やご意見をいただきながらやっていきたいなと思いますし、ララの解体という話の関係していて、解体後は暫定的な処置っていう部分もあるんでしょうけど、官民連携に取り組んでいかなきゃいけないというようなこともあるものですから、何かそういうことで会議所、或いはそのまちづくり会社で担っていけるものがあつたらいいんじゃないかなということをやちょっと考えているところであります。</p> <p>いずれにしろですね、当然、まちの活性化に資するような会社にしたいということになりますので、そういうことにさらにですね、商業の活性化に繋がるようなもの</p>

	<p>にしていきたいということも、当然加味されてるものでありますので、また皆さんと一緒にこのまちづくりというか、商業の活性化に取り組んでいけるような形のものを、発表できればいいんじゃないかなというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>今回の計画は基本戦略がそれぞれ1・2・3であって、そしてそれぞれのところに重点施策、目指すべきゴール、重要度優先度、そして主な取り組みということで、市、会議所、TMO等それぞれ取り組みを書いてあってですね、例えば基本戦略2の消費者満足度向上戦略というところなんですけれども、ここの主な取り組みっていうところが、計画薄いんですね。重要施策6っていうのは、優先度が高いし、重要度も高いので、本当は幾つも取り組みが載っていてほしい。</p> <p>そういったところが、例えばまちづくり会社がやればよいとは簡単に言えませんが、ヒントになってるんじゃないかなというふうに思ひます。</p> <p>ぜひですね、商業活性化計画をヒント集というか、取り組みの切り口になると思ひますので、ぜひ参考にしていただきたいなというふうに思ひます。はい。この件に関しては以上です。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>はいすいません。基本戦略2-6のところは薄いというお話ありましたんで、我々も新聞使ったり広報使ったりインスタグラム使ったりとかあるんですけど、やはり基本戦略2のところっていうのは、我々もやるんですけど、やはりお店やってる方々が、そういう観点を持ってやっていかないとなかなか、全部お店のことを行政がカバーするというのは難しいと思ひるので、例えばTMOの補助金の話でしますと、店舗知名度向上事業っていうのが、メニューであります。</p> <p>そういったものを使ってですね、商業会全体でやるだとか、ぜひそういった観点からも取り組みを進めていただければありがたいなというふうに思ひています。以上であります。</p>
会長	<p>はい。本当におっしゃる通りだと思ひます。そういう補助金があるので、ぜひ商連であるとか、商業会等で活用していただきたいな、と思ひます。</p> <p>というようなお話も出た中で、何かあれば、ぜひお願ひします。</p>
委員	<p>補助金に関しては、お金があるからイベントを企画するのか、イベントがあるからお金をいただくのかっていうのが結構大きいと思ひていて、イルフプラザは年間行事としてイベントを組んでいて、そこに対して補助金をいただくみたいな感じでできているんですが、イベントを企画してない、例えばちょっと動いていないような商業会に対して、「お金あるからイベント組んで」っていうのはなかなかやっぱりできないんじゃないかっていうのはすごいちょっとお話を聞いてて思ひました。イベ</p>

	<p>ントをやれることができれば、多分補助金も使えるだろうなって思うんですけどなかなかそこはちょっとうまくいかないんじゃないかなと思ってます。</p> <p>1つオカヤペイに関して、ちょっとあるんですけど、やっぱり使えるお店が少ないっていうのは最近すごい聞きました、使ってる方はすごくオカヤペイをチャージしたりポイントを使ったりイベントのたびにポイントの金額がぐっと増えたり、それは本当に上手く動いてるなって思うんですけど、ただやっぱり使えるお店が少ないっていう声もすごく聞くので、何かその辺、前にやったような商連がお金をもってあげて、使えるお店をふやすとかそういうことができたらいんじゃないかなって、今申請 0 みたいなのも聞きましたし、もうちょっとそこに力を入れて、使えるお店が増えてくればいいんじゃないかなっていうのは、感じました。以上です。</p>
事務局	<p>商工会議所の方でも新規のお店を増やすっていう取り組みはしていたと、会報誌等でお伝えしております。オカヤペイというものの認知を上げるための情報発信っていうのもやったりして、あと、各取扱店舗の皆さんにもご登場いただいた形のトコトコ諏訪でのコラムみたいなものもやったりして、なるべく知ってもらい、また、どんな風に使ってもらえるかっていうところの情報発信を今取り組んでるところなんですけども、前にもお伝えしたと思いますけど、この地域通貨の取り組みに対して、大型店とか、チェーン店を入れることが地域通貨の取り組みに関しては本来の目的が薄れてきてしまうっていう、特徴が消えてしまうという点があるので、なかなかそういう意味では皆さんが使うようなコンビニとかスーパーを入れるっていうことは、商工会議所としてはやっていかない方針でいます。なので、できる限り地域のお店の皆さんが、一店ずつ入ってもらいたいというのが理想だと思いますので、ぜひやっているお店さん同士でも声をかけてもらいたいですし、ここに関わって皆さんに入ってもらいたいというのが理想かなというふうには思っていますので、そういう面では事業者同士の皆さんでも声掛けをしていただき、商工会議所でも取り組んでいるんですけども、まだ足りない部分もありますので、そういったところを皆さんに協力してもらえたらなど。</p> <p>一点、頭打ちになってるのは事実で、取り扱いが増えてないっていうことを把握はしていますんで、現状はどのようにオカヤペイを続けていくかっていうと、検討してるところは諏訪地域広域でっていう話を長野県と一緒にやっていくっていう話をしているので、今想定では6市町村で240店舗ぐらいで使えるようなサービス設計っていうのを、準備をしているところなので、そうなったときには少し使い方も変わってくると思います。QRコードで決済するっていうシステムを入れるような予定で今準備をしています。そういったところで少し改善されてくるかなというふうに思いますが、実装については、広域化してから、サービス設計っていうのを図っていくということで今準備してます。</p>
委員	<p>先ほどまちづくり会社の話が出ましたが、令和 5 年度に何回か、勉強会に出させ</p>

	<p>ていただいて、いろいろな全国のまちづくり会社の方々に来ていただいて、それぞれ特色のあるまちづくり会社のお話を聞きました。その講習を受けた中で、岡谷にもこういうまちづくり会社ができたらいいなというようなことを思った方々がほとんどだったと思います。</p> <p>それで、今、この事業計画の中で、岡谷のTMOが関わっているところに、もしかしたら、まちづくり会社が入って、まちづくり会社だけでやるとかっていうわけじゃなくて、商業活性化会議ともやっぱりリンクしてやっていくというのが、私の頭の中の夢というか、そういうところになるんですけども。</p> <p>先ほど話にあった、市の補助金を使っていろんなイベントができたりするけれども、実際には使ってないところが多いということも、商業会によってはやっぱり積極的に動いていないところが、例えばそのまちづくり会社できて、まちづくり会社も手伝ってくれたりして、そういう補助金を使ったりして、できていけば、今まで活発に動いてなかった商業会も、うまく活動できていくのかなと思っていますので、まちづくり会社には、私はそういう期待をしております。</p>
委員	<p>ちょっと質問なんですけど。空き家見学会とか街歩きっていうのは、報告っていうのはどこかで見えるんですか。いいことなんですけどやってるの初めて知ったなと思って。フェイスブックとかそれ以外のSNSとかでも結構広告って出てくるのかなっていう。</p>
事務局	<p>毎回ですね、開催前の募集期間の間にInstagramとフェイスブックで広告が出るようにしてるんですけど、おそらくこのエリアはあまり出ないようになって、首都圏と長野県の岡谷以外のエリアで表示されるような設定をしているので多分岡谷にいるとあんまり表示がされないかもしれないです。ただ、予算的にも結構十分な費用取ってありまして、表示回数もかなり多くなっていて、最近、毎回ではないんですけど、首都圏から参加される方とかも結構いらっしゃるような状況になってます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。市内とかでも、こういうのあったりすると、その移転をするとか、ちょっと大きな場所に移動したいって考えてる方もいたりとか、開業したいって言った方とかで、やっぱりお店探してる人もいるので、県外からの誘致とかも、もちろんいいなと思ってんですけど、やっぱりもうちょっとこう見えるところにそういうのがあると市内の人たちにとっても有益なのかなっていうのも。でそれも、Instagramとかのアカウントを今作ってくださってるので、そういうところに載せていっても、もちろんInstagramのフォロワーを増やすことがもちろんなんですけど、なんかそういうところに載せてもいいかなと思いました。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。ちなみに委員さんはどうやって物件ってのはお知りになりますか。</p>
委員	<p>まず最初に「岡谷 空き家 テナント」みたいなので調べて、商業のしおりのとこ</p>

	<p>ろに飛んでいったんですけど、やっぱりもうそこにはあんまり載ってなくて。テナントを作ってくれた会社とたまたまSNSやネットで知り合って、そこで一緒に探してくれたんですけど。</p> <p>なかなかそのネットに載ってるっていうよりは、その会社の方が持ってる物件の中からこう出してくれて。自分でも30件ぐらい、空いてるなっていうところを探して、ここどうですかっていうのをその会社の方に調べてもらって、でもやっぱり空いていなくて貸してくれないとか、美容系はちょっと無理ですって言われたりとかなかなかやっぱり空いていても貸してくれないところがあったんで。</p> <p>そういうのがもうちょっとしおりの方とか、ホームページの方で、自分からこう見に行けるのがあればいいなと思う。</p>
委員	<p>今の空き店舗のお話なんですけど、この計画を作り始めたときからやってきて、今年の継続事業になっているんですが、ココスマさんとかにも繋がるようになって、最初の頃に比べたら大分進んできたなあというか、本当に最初は市のホームページしかないとかそんなだったのが、こうやって今、不動産会社さんのホームページとかと繋がって見れるようになったのは、やってきてよかったのかなっていうふうに思います。</p> <p>あと質問じゃないんですけど。今年度、市の新規の事業、中央町駐車場改修工事。やること自体は全然いいんですけど、「中央町駐車場」と言われると、何か市内の中央町の駐車場全部やってくれるんじゃないかと、正直最初これ見た時にそう思った。</p> <p>他のこの会以外の人たちが見るかどうかかわかんないんですけど。事業の名前が気になったっていうのがありました。</p>
事務局	<p>一応、中央町駐車場というのは正式名称になってますので、それを事業名としてあるんですが、説明するときは、中央町にある立体駐車場だと、いうことでお話していきたいと思います。特にどこかに出てくるってのはないんですけど、これから実際入札の手続きの中ですとか、市民の方に向けては、しっかりとご説明していきたいと思います。</p>
会長	<p>ちなみに、例えば童画館通りとか、或いはいとまち商業会で借りてる駐車場がデコボコしてるとか、それは本来地主がやることかもしれませんが、そういったものには使える補助金とかあるんですか。</p>
事務局	<p>駐車場の運営費補助金っていうのがあって、賃貸料に対して補助してるんですけど、修繕に対しても補助をしています。それがあがる場合は事前に言ってきてもらう形にしている、商業会が来客のために運営している公共的駐車場の維持管理ということで、地代と修繕費を対象にしている、補助率が5分の1以内ということで、今現在使ってるしゃるのは、中央通りの5・6・7さんとイルフプラザさんがお使いになってるということで、一応予算を確保してるという状況であります。</p>
委員	<p>今日全体を通して思ったんですけど。結構いろんなポスターなどの販促物が、オ</p>

	<p>カヤペイにしてもいろいろあるんですけど、当社も電子マネーがありますから、商工会の方も気を使ってるかと思えますけど、どんどんこういう販促物をうちの店の中に貼ってもらって、来ていただいているお客様に知っていただくということで、広告塔になればいいかなと思いました。</p> <p>あともう1個だけいいですか。あの資料見てオカヤペイなんですけど、拡充ってなって、行政ポイント発行というふうに各課が持ってるんですけども、やっぱりこの内容見ると、高齢者が対象になってるなと思ひまして、逆にそこをポイントをもっと絞って、見直して、外から来る方、あと、子育て世代ですとか、お子様向けの項目で、ポイントを見直してもらえないかなと思ひました。以上です。</p>
事務局	<p>各課の行政ポイントにつきましては毎年、市の予算の中で、うちからは各課にお願いをする立場で、さまざまなアイデアをあげていただいております。委員さんからいただいたご意見を参考にしながら、また庁内の方に依頼していきたいというふうに思っております。</p>
会長	<p>はい。私からも、前はね図書館に行くと、貸し出しをするとポイントがついたと思うんですね。図書館はお子さんにも貸し出しされてるので、ぜひまた復活していただくことも検討してほしいなと。</p>
委員	<p>全体的な話になってしまうんですけど、これだけやはりいろんな取り組みっていうのがあって、評価だったり見直しだったりっていうお話がこれから出てくると思うんですけど、先日、ワーキンググループにも出席させていただいて、優先度の見直しだったりっていうところの、こちらの感覚というか、現場のその肌感っていうのは、こういった数字にはしっかり反映されてるなっていうのが、個人的には感じました。今後はそういった見直しだったり、評価していく中で、そういったその現場の肌感だったり、感覚的な部分をもう少し意識しながらやっていければなと思ひました。</p>
会長	<p>それでは、続きまして、(3) 第2次岡谷市商業活性化計画 重要度・優先度の見直しについて、説明をお願いします。</p> <p>～事務局より説明～ 第2次岡谷市商業活性化計画 重要度・優先度の見直しについて<資料3></p> <p>はい。ありがとうございました。特になければ、事務局の変更案で進めたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、協議につきましては以上でございますが、その他なにかありますでしょうか。</p>
委員	<p>この活性化計画の立ち上げ当初からずっと見させていただいて、重要度、優先度の評価、肌感覚を大事にしながらメリハリをつけた評価をしていくと、こういう</p>

	<p>ような形で取り組んできているものですが、それを進めると同時に、計画の内容がかなりブラッシュアップされたり、整理されたりして、非常に明確になってきているなという印象を持っています。初めは計画は立てたけれども、ではそれをどういうふうに活用していくのかという話があった中でも、現在はこの資料を見させていただくと、例えば、基本戦略1の重点施策1についてはこういうような取り組みがなされているとか、そういう形で、事業の方もかなり整理されて見やすくなっていますし、また、商業者の方々も、これに沿った形でどういうふうにまちを活性化していくのかということを考えているんだなというふうには感じているところです。</p> <p>ここまで来ているので、1つ、市の方にご負担をかけるのはあれなんですけど、今日も配布資料が白黒なんですけれども、PDFファイルの方はとてもカラフルに綺麗なものを作っています。プラス、今日のように、秋山主幹の方でご説明、清水課長の方等でご説明いただくと非常にわかりやすい。色があって、しかも耳から入ってくるとわかりやすい。それを知ることによって、こんなものがあるのかっていう気づきに繋がるので、可能であれば、動画とは言いませんが、ただ単にこれをホームページ等にPDFとしてアップするだけではなくて、何か動いて見るとか、音を聞きながら見ることができると、一步、DX化と言いますが、何か進んで、我々の取り組みであったり市民の人がこういうことがなされているのかというのが、わかるのかなと。ここまで来てるので、PRしていくとかそれをどうやって情報共有していくのかなっていうフェーズに入ってるのかなってのが、ちょっと印象に思ったところです。以上です。大変すばらしいものになってると思ってます。ありがとうございます。</p>
副会長	<p>この商業活性化計画ができた時から携わらせていただいております。</p> <p>この商業活性化計画、重大な柱が3つある中で、3つとも重要だと思っておりますが、会議所の方では、市内の店舗などの知名度の向上に向けた情報の発信、あと、市外からの顧客の獲得に向けた取り組み、これをもっと深掘りするという形で、力を入れてやっていきたいと思っております。</p> <p>その中で、これからまちづくり会社ができることは、そういうようなところを応援していく、各商店は自分でお店をやりながら、情報発信もというのはとても大変だと思います。そういう中で、ブラッシュアップやパワーアップができるようなことを、手助けができればと思っております。以上でございます。</p>
会長	<p>はい。皆さんありがとうございました。</p> <p>私最後にですね、こういうオフィシャルの会が年2回なんですよね。3月と10月の2回だけです。非常に限られた時間の中で、説明を聞いてそしてご意見をいただくというのが非常にタイトで、私毎回実はちょっと消化不良だなというふうに感じてます。なので、何かこう違う場でもっとこう、ざっくばらんに、いや「ここはこ</p>

	<p>うでしょ。」みたいな話ができればいいと、そんな場もつくればいかなというふうに感じています。以上です。</p>
事務局	<p>本日は長時間、本当にありがとうございました。以上をもちまして、令和6年度第2回商業活性化会議を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。 (終了 17:20)</p>